

ポイント

◆◆特集◆◆

★「平成25年度標識令改正について」★

(国土交通省 道路局 企画課)

平成26年3月25日、「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部を改正する命令」が公布され、4月1日より施行された。本改正では、案内標識に用いる英語表記や高速道路上において「道の駅」を案内する標識を新たに位置づけるなどの改正を行った。

ここでは、本改正の背景及び施行に当たっての留意点等について紹介する。

◆◆道路占用Q&A◆◆

★国家戦略特別区域法の施行に伴う道路法の特例について★

(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

国家戦略特別区域法の施行に伴う道路法の特例について解説する。

◆◆TOPICS◆◆

★うめきた先行開発区域における公民連携による  
公共空間の整備・管理・活用について★

(大阪市 都市計画局 企画振興部 うめきた整備担当)

JR大阪駅の北側に広がる約24haのうめきた先行開発区域では、地区内の空間整備あたり、地区全体にゆとりとうるおいのある都市空間の形成を図ることとしている。本稿では、タウンマネジメント組織の設立等、公民連携による一体的でより質の高い公共空間・公共的空間の整備内容について紹介する。

◆◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◆

★大規模な雪害を想定した救助訓練等、暴風雪災害への取組み★  
(北海道開発局 網走開発建設部)

平成 25 年 3 月の暴風雪被害被災経験を踏まえ、平成 25 年 12 月に大規模な雪害を想定した救助訓練を実施しました。本稿では、救助訓練の実施内容及びオホーツク地域における暴風雪災害への取組みについて報告します。

.....

★奈良県における道路インフラ管理の取組みについて★  
～予防保全型維持管理への転換、合理的な修繕計画の策定、市町村への支援～  
(奈良県 県土マネジメント部 道路管理課)

奈良県では、老朽化が進む道路インフラに対し、効率的、効果的な維持管理を実践していくために、予防保全型維持管理への転換や、合理的な修繕計画の策定を進めています。また「奈良モデル」として、土木技術職員が不足している市町村に対し支援施策を行っています。本稿では、これらの取組みについて紹介します。

.....

★世界遺産へのシンボルロード「三条通り」の整備について★  
(奈良市 建設部 街路課)

奈良市では、都市計画マスタープランでの「三条都市軸」形成の方針に基づき、世界遺産へのアクセス道路でもあり、中心市街地におけるシンボルロードと位置づけられた「三条通り」を、地域文化を継承し育てつつ、歩行者の安全機能を重視し、景観にも配慮した道路整備について紹介します。

## ◆◆編集後記◆◆

5月の第2日曜日は“母の日”。

毎年、この時期になると街中の花屋がたくさんカーネーションで彩られます。

母親に感謝の気持ちを伝える日とされる“母の日”には、多くの方がカーネーションを贈ることが定番となっていますが、この慣習はアメリカのある出来事に由来するようです。南北戦争のさなか、敵や味方を区別することなく、負傷兵の治療や戦地の衛生状態を改善する活動を行っていた女性がいました。その女性は1905年に亡くなりましたが、2年後の5月の第2日曜日、生前の活動を多くの人に知って欲しいという思いから、その女性の娘が中心となり、追悼式が執り行われました。追悼式では、参列者に感謝の気持ちを込めて、その女性の好きな花であった白いカーネーションが配られたそうです。これをきっかけとして、母親にカーネーションを贈るとともに、感謝の気持ちを伝えるという“母の日”を設けようとする働きかけが教会を中心としておこり、1914年にアメリカ議会で5月の第2日曜日と定められました。

同じころ、日本でも教会を中心として、カーネーションを贈るとともに感謝の気持ちを伝えるという“母の日”が、次第に定着していきましたが、全国的に広まったきっかけは、製菓会社のキャンペーンであったようです。

母親に感謝の気持ちを伝える日は、伝え方や時期は異なるものの、世界の各地で行われているようです。母親への感謝は共通する思いなのではないでしょうか。

花の美しく咲く姿や良い香りには、心が安らぎ和やかになる効果があり、人の心を癒すといわれています。そのためか、“母の日”に花を贈られると喜ぶ母親は多いようです。最近では、定番のカーネーションにこだわらず、母親の好きな花や、プリザーブドフラワーとよばれる長期保存のできる花などを選ぶことが増えているようです。また、花に添えて、一緒に楽しい時間を過ごせる旅行や食事などを贈る人も多いようです。

2014年の“母の日”は、5月11日の日曜日。

今年は、母の好きなアジサイを贈り、一緒に観劇に出かけました。自宅に戻ると「有効期限はないよね？」と見覚えのある“肩たたき券”を手渡されました。小学生の頃に、カーネーションに添えて贈った記憶がよみがえり、思い出話に花を咲かせながら、久しぶりに母の肩をたたきました。これからも母と一緒に過ごす時間を大切にしていきたいと感じた1日となりました。いつもありがとう。(K)